

# 学校評議員会の実施報告書

---

学校名 岐阜県海津特別支援学校

学校長 石原 和寿

所在地 海津市平田町今尾 3885-2

電話 0584-66-2888

---

## 1 会議の名称

岐阜県立海津特別支援学校 学校評議員会 (第1回)

## 2 会議の構成

学校評議員

児玉 泉 民生委員 (主任児童委員)

水谷 芳郎 有限会社吉野屋 代表取締役

細井 豊年 海津市平田町今尾地区 前区長

高岡 由香 障がい者センター あいさんハウスぎふ 施設長

大橋 恵美子 共同生活援助 れんげの家所長

学校関係

石原 和寿 (校長) 佐藤沙奈恵 (PTA 会長) 武藤小百合 (事務長)

神谷佳代子 (教頭) 栗原 正美 (小学部主事) 伊藤 智子 (中学部主事)

佐藤 鈴子 (高等部主事)

## 3 会議の目的

学校運営等について関係諸機関や地域住民から幅広く意見を聞き、地域社会から支援協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

## 4 会議の開催

第1回—令和2年8月 書面開催

## 5 会議の概要

① 学校の教育活動への意見等

② 作業製品価格について審議 (作業製品の販売価格について、審議のため市場価格・原材料費を明示した販売価格一覧 (案) を示し、ご意見をいただく)

## 6 委員からの意見

### 【学校の教育活動について】

意見1：コロナ渦での学校生活に対応していただき、先生方に感謝している。児童生徒が安心して、笑顔で健康に学校生活が送れるように、よろしく願いたい。学校行事は規模を小さくしてもできるとよい。(第2波到来の状況によっては難しいかもしれないが)

意見2：きめ細やかな指導方針によって熱意ある教育が実施されている。勉強はもちろ

ん、学校生活でより多くの経験と感動を覚えることが、子どもたちの成長につながる。

意見3：学校教育活動も新しい形になり、行事等も変更になると思う。児童生徒が新しい学校生活に戸惑うこともあると思うので、心のケアにも十分気を付けてほしい。

意見4：今年度はとても厳しい社会情勢の中で、学校教育活動を行うことになり、大変だと思う。また、活動の幅も狭くなり、工夫と配慮の中で教育活動を実践したり、主体的に活動する場を設ける必要がある。年間通して、これまでにない教育活動になると思うが、子どもたち一人一人が楽しみながら課題に取り組み、成長し、生きる力を身に付けられるような活動を工夫し、子どもたちの気持ちを広げてもらいたい。ご苦労だと思うが、一日一日の学習の積み重ね、支援の継続をお願いしたい。

意見5：休業中のオンライン授業はとても楽しく受けることができた。先生や友達の顔を見て話せたのがうれしかったようで、楽しみにしているようだった。学校再開後は、先生からの感染予防に対する指導により、子どもも感染予防への関心を持ち、進んで対策を行おうとしている姿が見られた。

#### 【地域との連携・進路等について】

意見6：以前も商工会を通じて、地域内の商工業者（会員 900 名程度）に学校行事の広報・PRをお願いした。今後とも計画があったら協力したい。

意見7：今年度は地域交流等が難しいかと思うが、福祉施設として、児童生徒・保護者の皆様に協力できることがあったら遠慮なく伝えていただきたい。

意見8：「地域との共生を図る」という視点（働くこと、学校以外の人とのかかわり）で福祉事業の一環としても知っていただけるとありがたい。進路実現、生きる力の育成のために外部からできることはないかと考えている。

意見9：コロナウイルス感染症の影響が卒業後の進路にどのように影響してくるのか心配である。実習等の受け入れも例年とは違うと思うので、学校から情報を発信したり、アドバイス等があると安心できる。

#### 7 審議： 高等部作業学習製品販売価格について

- ・評議員5名、PTA会長の計6名全員に「適正である」と承認していただいた。9月以降の作業製品販売に適用する。

#### 8 会議のまとめ

- ・学校要覧や今年度の取組資料等で説明し、本校の教育活動についてご理解いただいた。いただいた貴重なご意見を参考に今後の活動に生かしていきたい。

※10月に学校評価アンケートへの回答依頼について了承を得た。